

# 特別養護老人ホーム「一味園」が民営化されました

町では、民間の能力を活用してサービスの向上を図るため、4月1日から一味園を民営化しました。今回は、その移管先や民営化までの経緯などについてお知らせします。

移管先は、知的障害者施設「からまつ園」、「こざくら園」や特別養護老人ホーム「ふくしあ」などを経営している社会福祉法人南富良野大乗会（竹澤喜一郎理事長）です。福祉施設の運営経験とノウハウを持ち得ており、一味園の運営にふさわしい法人として決定しました。

国や地方自治体の財政状況は年々厳しさを増しています。平成18年に作成した「新行財政改革大綱（集中改革プラン）」において民間でできることは民間に、という基本的な考えのもと実施年度を平成22年度とし、町と大乗会に検討委員会を設置し、



一味園移管に伴う調印書を手にする池部町長と竹澤理事長

移管方法などについて協議を重ねてきました。

職員に対しては、民営化にあたり全職員対象の説明会や個別面談により理解を求めてきました。園長、介護士、看護師、調理員など町が運営していたときに採用した職員35人のうち29人が引き続き勤務することとなり、その他は新規に採用などを行いました。

民営化後、入所の手続きや介護サービス提供の種類などは、従来と変更ありません。

今後は、完全個室型の「ふくしあ」と4人部屋を中心とする多床室の「一味園」を大乗会が一体的に運営することにより、利用者のニーズにあったサービスの向上が期待されます。また、民営化後も一味園の食材などの物品については、町内業者からの調達に配慮してもらうことになっていきます。

## ●お礼

昭和53年12月より31年間にわたり町直営としての施設運営に際し、町民の皆様には様々なご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今後も老人福祉施設としての機能向上を目指し、特色ある施設づくりに対し町として協力してまいります。

## 災害対応型自動販売機が「みなくる」に設置されました

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（角野中原社長）により保健福祉センターみなくるのロビーに、災害対応型自動販売機が設置されました。

このたびの自動販売機の設置は、同社北海道との間で締結されている「災害時における飲料の供給等防災に関する協力協定」に基づき、本町との協働事業として行われたものです。

自動販売機には、電光掲示板が搭載され、役場のパソコンからの遠隔操作により、防災情報や地域情報などを配信するほか、緊急災害時には、災害情報発信や町の判断により、自動販売機内の飲料水を無料提供できることになっていきます。

3月19日には、同社と町による協定書の調印と自動販売機の点灯式が行われ、飲料水の無料提供も行われました。この自動販売機は、道内108市町村306箇所に設置され、運用が開始されており、「みなくる」への設置による町の防災意識の高揚と地域防災力の強化が期待されます。



自動販売機の前で調印書を手にする池部町長と佐々木販売部長

## 高橋はるみ北海道知事来町 富良野地域懇談会が開かれる

3月20日、高橋はるみ北海道知事が来町し、富良野地域の各分野で活躍する方々との懇談会が、みなくるを会場に行われました。

この懇談会は、高橋知事が様々な地域の皆さんと直接対話して、今後の道政推進に反映させていくことを目的として行われたもので、本町からは、岩永かずえさん（JA上川地区女性部協議会長）、曾慶一介さん（町商工会長）、鷹嘴充子さん（レディース100年の森林業グループ会長の3名が出席。

懇談は、坂口収上川支庁長が司会を務め、出席者の紹介が行われたあと、高橋知事から、「私も地域の元気づくりを応援していきたい」とあいさつがありました。

出席した皆さんは、自らの活動について話したあと、地域の実情や今後の道政への要望などについて発言していました。



出席者と懇談する高橋はるみ知事